



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場取引所 東 札

上場会社名 雪印メグミルク株式会社

コード番号 2270 URL <http://www.megmilk-snowbrand.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野瀬 忠明

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小西 寛昭

TEL 03-3226-2124

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	390,548	45.6	14,456	26.9	15,925	20.2	8,008	△17.2
22年3月期第3四半期	268,237	—	11,388	—	13,251	—	9,674	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	117.55	—
22年3月期第3四半期	152.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	295,677	97,051	32.2	1,403.90
22年3月期	292,164	92,765	31.2	1,316.07

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 95,267百万円 22年3月期 91,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	25.00	25.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	29.6	15,500	21.9	16,500	10.7	10,000	8.0	147.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 70,751,855株 22年3月期 70,751,855株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,892,770株 22年3月期 1,530,085株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 68,133,309株 22年3月期3Q 63,393,945株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は平成21年10月1日に日本ミルクコミュニティ株式会社と雪印乳業株式会社が経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。本資料の前第3四半期連結累計期間実績には、日本ミルクコミュニティ株式会社の平成22年3月期 第2四半期連結累計期間実績は含まれておりません。

2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. (参考) 前年対比数値参考資料	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復が足踏み状態であるうえ、厳しい雇用・所得環境が続いており、また、原油価格や国内株価・為替の変動による景気の下押し懸念に加え、物価の動向は緩やかなデフレ状況にあるなど依然として楽観できる状況にはありません。

食品業界において、個人消費は低調に推移し、消費者の低価格志向や市場競争の激化など、厳しい事業環境が続いており、また、酪農乳業界においては、主に今夏の猛暑などの影響が一部に出ていることに加え、牛乳の生産および消費は低迷しております。

このような経営環境の中、当社は日本ミルクコミュニティ㈱と雪印乳業㈱の共同持株会社として2期目を迎え、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成21年度～平成25年度）」の基本コンセプトである「シナジーの創出」と「イノベーションへの挑戦」に、積極的に取り組んでまいりましたが、より一層着実に実行していくため、今般、当社と日本ミルクコミュニティ㈱と雪印乳業㈱は平成23年4月1日をもって合併することとし、「乳」の新しい価値を創造し発展させる「次世代型総合乳業メーカー」を目指してまいります。

当期に新設し、その基盤となる「ミルクサイエンス研究所」では、総合乳業メーカーの研究所として研究開発力の強化に努め、同じく「海外事業部」では新規事業領域への展開に向け、既存インフラの活用について検証してまいりました。また、同計画に掲げた、「乳飲料」「デザート」「ヨーグルト」「ナチュラルチーズ」の4つのカテゴリーにおける「カテゴリーNo.1戦略」を強力に推進するため、それぞれラインナップを強化するとともに、具体的な施策として戦略的設備投資を実行してまいります。

また、原料乳製品のプロダクトミックス改善や、調達・生産・物流のコスト改善等、当社グループとしての統合効果発揮への取り組みに努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は390,548百万円、営業利益は14,456百万円、経常利益は15,925百万円、四半期純利益は8,008百万円となりました。

なお、平成21年10月1日の当社の設立に際し、雪印乳業㈱を取得企業として企業結合会計を行っているため、前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）の連結経営成績は、取得企業である雪印乳業㈱の前第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、日本ミルクコミュニティ㈱の前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）の連結経営成績を連結したものととなります。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、各セグメントごとの売上高の数値につきましても、セグメント間の内部売上高又は振替高の相殺消去前の数値を記載しております。

①乳製品事業

当事業には、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等）等の製造・販売が含まれております。

乳製品部門では、「さけるチーズ」や「スライスチーズ」の販売が好調に推移しました。また、油脂部門は市場の需要が落ち込む中、低調でありました。

この結果、当事業における売上高は149,406百万円となりました。

②飲料・デザート類事業

当事業には、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート等の製造・販売が含まれております。

ヨーグルト部門では、主力の「ナチュレ恵」が牽引し、販売が堅調に推移しました。また、飲料部門では、市場全体で牛乳消費が落ち込んだものの、加工乳の販売が好調に推移し、果汁飲料では、「D o l e®100%ジュース」のラインナップ強化が大きく貢献しました。

この結果、当事業における売上高は198,111百万円となりました。

③飼料・種苗事業

当事業には、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子等の製造・販売が含まれております。

売上高は、配合飼料販売価格の低下及び天候不順による種子販売の低調等により、33,352百万円となりました。

④その他事業

当事業には、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。売上高は31,157百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,513百万円の増加となりました。

これは主に、たな卸資産や繰延税金資産が減少した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して772百万円の減少となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金や長期借入金が増加した一方で、短期借入金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して4,286百万円の増加となりました。

これは主に、自己株式を取得した一方で、利益剰余金が増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、12,165百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、28,448百万円の収入（前年同期は12,957百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が11,609百万円となったこと、たな卸資産の減少によるキャッシュ・フローの増加が6,322百万円となったこと、仕入債務の増加によるキャッシュ・フローの増加が6,784百万円となったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,444百万円の支出（前年同期は5,528百万円の支出）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、12,284百万円の支出（前年同期は7,037百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済により5,355百万円を支出したこと、自己株式の取得により2,134百万円を支出したこと、配当金の支払により1,732百万円を支出したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の連結子会社の貸倒実績率等は前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、連結子会社の前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の連結子会社の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、連結子会社の第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は14百万円、税金等調整前四半期純利益は433百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は545百万円であります。

(表示方法の変更)

連結キャッシュ・フロー計算書

財務活動によるキャッシュ・フローの「自己株式の取得」は、前第3四半期連結累計期間は「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増加したため区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「自己株式の取得」は△63百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,896	9,130
受取手形及び売掛金	67,400	57,729
有価証券	49	349
商品及び製品	22,142	27,613
仕掛品	1,121	752
原材料及び貯蔵品	8,089	9,309
繰延税金資産	6,580	6,883
その他	8,175	7,797
貸倒引当金	△634	△546
流動資産合計	125,820	119,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,692	29,409
機械装置及び運搬具（純額）	32,604	34,592
土地	68,147	65,193
その他（純額）	5,852	4,401
有形固定資産合計	134,296	133,597
無形固定資産		
のれん	5,203	6,244
その他	4,259	5,073
無形固定資産合計	9,462	11,317
投資その他の資産		
投資有価証券	17,263	16,390
繰延税金資産	4,527	6,864
その他	5,588	6,379
貸倒引当金	△1,281	△1,405
投資その他の資産合計	26,097	28,229
固定資産合計	169,856	173,144
資産合計	295,677	292,164

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,988	51,836
短期借入金	24,968	41,623
未払法人税等	710	1,052
賞与引当金	2,101	3,713
資産除去債務	264	—
その他	25,308	22,338
流動負債合計	111,341	120,565
固定負債		
長期借入金	53,459	44,154
繰延税金負債	2,542	2,877
再評価に係る繰延税金負債	10,171	10,171
退職給付引当金	10,487	9,874
役員退職慰労引当金	318	277
ギフト券引換引当金	246	257
資産除去債務	338	—
負ののれん	2,076	2,833
その他	7,645	8,386
固定負債合計	87,284	78,833
負債合計	198,625	199,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,580	17,580
利益剰余金	46,405	40,127
自己株式	△4,518	△2,385
株主資本合計	79,467	75,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	706	444
繰延ヘッジ損益	4	153
土地再評価差額金	15,103	15,103
為替換算調整勘定	△15	76
評価・換算差額等合計	15,799	15,777
少数株主持分	1,784	1,664
純資産合計	97,051	92,765
負債純資産合計	295,677	292,164

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	268,237	390,548
売上原価	196,656	284,246
売上総利益	71,581	106,302
販売費及び一般管理費	60,192	91,845
営業利益	11,388	14,456
営業外収益		
受取利息	31	47
受取配当金	315	452
負ののれん償却額	757	757
持分法による投資利益	906	493
その他	1,052	1,057
営業外収益合計	3,062	2,807
営業外費用		
支払利息	997	961
その他	202	376
営業外費用合計	1,199	1,338
経常利益	13,251	15,925
特別利益		
固定資産売却益	174	11
貸倒引当金戻入額	—	57
退職給付引当金戻入額	—	27
その他	120	40
特別利益合計	294	136
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	304	549
減損損失	348	44
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	419
統合関連費用	245	—
工場再編損失	—	3,076
その他	92	361
特別損失合計	991	4,452
税金等調整前四半期純利益	12,555	11,609
法人税等	2,695	3,477
少数株主損益調整前四半期純利益	—	8,132
少数株主利益	185	123
四半期純利益	9,674	8,008

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,555	11,609
減価償却費	5,939	9,043
減損損失	348	44
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	419
工場再編損失	—	3,076
持分法による投資損益 (△は益)	△906	△493
のれん償却額	346	1,040
負ののれん償却額	△757	△757
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△36
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,184	△1,611
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	241	612
ギフト券引換引当金の増減額 (△は減少)	△4	△11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△90	40
固定資産除売却損益 (△は益)	130	540
受取利息及び受取配当金	△347	△499
支払利息	997	961
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,561	△9,670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,300	6,322
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,013	6,784
その他	3,771	3,161
小計	14,766	30,576
利息及び配当金の受取額	472	623
利息の支払額	△990	△1,002
解約金及び違約金の支払額	△153	—
法人税等の支払額	△1,137	△1,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,957	28,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△99	△245
定期預金の払戻による収入	—	184
有価証券の償還による収入	—	300
貸付けによる支出	△134	△834
貸付金の回収による収入	345	1,177
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,688	△13,057
有形及び無形固定資産の売却による収入	191	35
投資有価証券の取得による支出	△173	△19
投資有価証券の売却による収入	31	13
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,528	△12,444

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,783	△5,355
長期借入れによる収入	13,200	15,000
長期借入金の返済による支出	△5,568	△16,994
社債の償還による支出	△6,200	—
自己株式の取得による支出	—	△2,134
配当金の支払額	△1,191	△1,732
少数株主への配当金の支払額	△37	△2
その他	△456	△1,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,037	△12,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	491	3,707
現金及び現金同等物の期首残高	6,953	8,458
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,748	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,193	12,165

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)						
	乳製品 (百万円)	乳飲料 (百万円)	飼料・種苗 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	131,077	86,407	33,090	17,662	268,237	—	268,237
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,891	53	695	5,845	9,486	(9,486)	—
計	133,968	86,460	33,786	23,508	277,724	(9,486)	268,237
営業利益	8,793	766	884	901	11,345	43	11,388

(注) 1 事業区分は、製品の種類及び販売市場の類似性を考慮して、区分しております。

2 各事業区分の主要な製品

- (1) 乳製品 …………… 乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等）等
- (2) 乳飲料 …………… 飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート
- (3) 飼料・種苗 …………… 牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子等
- (4) その他 …………… 不動産賃貸、共同配送センター事業等

3 前第3四半期連結会計期間において、日本ミルクコミュニティ㈱と雪印乳業㈱の経営統合により、乳飲料事業における資産が96,618百万円、その他事業における資産が3,264百万円増加しております。

(追加情報)

平成21年10月1日の日本ミルクコミュニティ㈱と雪印乳業㈱の経営統合により、事業の種類別セグメントの再編を行い、従来の「食品事業」につきましては、雪印乳業㈱の主たる事業である「乳製品事業」と日本ミルクコミュニティ㈱の主たる事業である「乳飲料事業」に区分しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）については、全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）については、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主たる事業として、乳（ミルク）等を使用した製品の製造・販売及び牛用飼料、牧草・飼料作物種子等の製造・販売を行っており、チーズ・バター等の「乳製品」については主に雪印乳業㈱が、牛乳・ヨーグルト等の「飲料・デザート類」については主に日本ミルクコミュニティ㈱が、「飼料・種苗」については主に雪印種苗㈱が行っております。

したがって、当社グループは、製品別のセグメントから構成されており、「乳製品」、「飲料・デザート類」及び「飼料・種苗」の3つを報告セグメントとしております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類 (注) 1	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	137,560	197,953	32,701	368,215	22,333	390,548	—	390,548
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,846	158	651	12,655	8,824	21,480	(21,480)	—
計	149,406	198,111	33,352	380,871	31,157	412,029	(21,480)	390,548
セグメント利益	9,827	2,071	881	12,780	1,599	14,380	75	14,456

(注) 1. 前連結会計年度において「乳飲料」という名称を使用していましたセグメントにつきましては、当連結会計年度より、セグメントの内容をより具体的に表すために「飲料・デザート類」に名称を変更しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

3. セグメント利益の調整額 75百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年5月25日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成22年5月31日付で自己株式の取得を行いました。この取得などにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,133百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が△4,518百万円となっております。

4. (参考) 前年対比数値参考資料

(1) 開示ベース：前年度 上期雪印乳業(株)連結に経営統合後の第3四半期連結業績を加算したものととの比較

	前年度		当年度
	平成22年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	平成22年3月期 第3四半期 (10～12月)	平成23年3月期 第3四半期累計 (4～12月)
雪印乳業(株) (連結)	○	○	○
日本ミルクコミュニティ(株) (連結)	×	○	○

(注) 1. 前年度(22年3月期第3四半期)は雪印乳業(株)連結の上期業績に経営統合後の第3四半期(10～12月)の業績を加算した数値を表示しておりますのでご留意下さい。

なお、前年度との比較を容易にするために、前年度期首に経営統合を実施していたと仮定した場合の数値を、後掲(2)に掲載しております。

2. 連結子会社である雪印種苗(株)、(有)ロイヤルファームおよび道東飼料(株)は前期に決算期を変更しております。そのため連結財務諸表に取込んだ期間が前年度と今年度では以下のとおり相違しております。

(前年度) 決算期：9月 連結対象期間：平成21年1月～平成21年9月

(今年度) 決算期：12月 連結対象期間：平成22年4月～平成22年12月

後掲(2)に記載している前年度の数値は、上記の会計期間の相違も修正して表示しております。

①当期の連結経営成績

(単位：億円)

	平成22年3月期 第3四半期累計		平成23年3月期 第3四半期累計		増減金額	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	前期比
売上高	2,682	(100.0%)	3,905	(100.0%)	1,223	(145.6%)
営業利益	113	(4.2%)	144	(3.7%)	30	(126.9%)
経常利益	132	(4.9%)	159	(4.1%)	26	(120.2%)
四半期純利益	96	(3.6%)	80	(2.1%)	△16	(82.8%)

②当期のセグメント別実績

(単位：億円)

	平成22年 3月期 第3Q 累計	平成23年 3月期 第3Q 累計	増減金額		セグメント別の主な取扱商品類	
			実績	前期比		
売上高	乳製品	1,339	1,494	154	(111.5%)	乳製品：乳製品(チーズ、バター、粉乳等) 油脂(マーガリン等)、 育児品(乳幼児用粉乳等)他 飲料・デザート類：飲料(牛乳類、果汁飲料等)、 ヨーグルト、デザート 他 飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、 野菜種子 他 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他
	飲料・デザート類	864	1,981	1,116	(229.1%)	
	飼料・種苗	337	333	△4	(98.7%)	
	その他	235	311	76	(132.5%)	
営業利益	乳製品	87	98	10	(111.8%)	
	飲料・デザート類	7	20	13	(270.3%)	
	飼料・種苗	8	8	△0	(99.7%)	
	その他	9	15	6	(177.6%)	

(注) 1. セグメント別の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 【参考】 通期連結ベース：前年同期比較を容易にするために、前年度期首に経営統合を実施したと仮定した場合の参考数値

	平成22年3月期 第3四半期累計	平成23年3月期 第3四半期累計
雪印乳業(株) (連結)	○	○
日本ミルクコミュニティ(株) (連結)	○	○

①連結経営成績 (平成22年3月期実績はレビュー対象外) (単位：億円)

	平成22年3月期 第3四半期累計		平成23年3月期 第3四半期累計		増減金額	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	前期比
売上高	3,813	(100.0%)	3,905	(100.0%)	92	(102.4%)
売上原価	2,759	(72.4%)	2,842	(72.8%)	82	(103.0%)
販売費及び一般管理費	922	(24.2%)	918	(23.5%)	△3	(99.6%)
営業利益	131	(3.4%)	144	(3.7%)	13	(110.2%)
営業外収益	29	(0.8%)	28	(0.7%)	△1	(95.7%)
営業外費用	14	(0.4%)	13	(0.3%)	△1	(91.5%)
経常利益	145	(3.8%)	159	(4.1%)	13	(109.2%)
特別利益	3	(0.1%)	1	(0.0%)	△2	(37.7%)
特別損失	14	(0.4%)	44	(1.1%)	30	(310.4%)
法人税等	34	(0.9%)	34	(0.9%)	0	(101.8%)
少数株主損益	2	(0.1%)	1	(0.0%)	△0	(61.3%)
四半期純利益	98	(2.6%)	80	(2.1%)	△18	(80.9%)

- (注) 1. 昨年2月9日に公表いたしました「平成22年3月期第3四半期決算短信参考資料」では、前年度第3四半期実績について売上高3,809億円、営業利益135億円としておりました。今回、前年度との比較を容易にするため、前期に決算期を変更した連結子会社の業績およびのれんの償却額を修正し、上記数値に変更しております。
2. 平成22年3月期実績はレビュー対象外の数値であり下線を付しております。

②セグメント別実績 (平成22年3月期実績はレビュー対象外) (単位：億円)

	平成22年3月期 第3四半期累計		平成23年3月期 第3四半期累計		増減金額	
	実績		実績		実績	前期比
[売上高]						
乳製品	1,432		1,494		62	104.3%
飲料・デザート類	1,901		1,981		79	104.2%
飼料・種苗	342		333		△8	97.5%
その他	309		311		2	100.8%
[営業利益]						
乳製品	88		98		9	110.6%
飲料・デザート類	18		20		2	113.9%
飼料・種苗	8		8		0	101.8%
その他	14		15		1	114.2%

- (注) 1. セグメント別の主な取扱商品類
 乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等） 他
 飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他
 飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他
 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他
2. セグメント別の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。
3. 前年比較を容易にするため、前期に決算期を変更した連結子会社の業績を修正しております。
4. 平成22年3月期実績はレビュー対象外の数値であり下線を付しております。

(3) 業績予想

①連結業績予想 (単位：億円)

	平成23年3月期	
	通期	
	予 想	前期比
売上高	5,100	103.0%
営業利益	155	108.8%
経常利益	165	103.0%
当期純利益	100	105.5%

(注) 1. 平成22年5月12日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

2. 前期比は平成22年5月12日発表決算短信における参考資料として記載しました、平成21年4月に経営統合を実施したと仮定した場合の平成22年3月期実績に基づいて算出しております。

②セグメント別売上予想 (単位：億円)

	平成23年3月期	
	通期	
	予 想	前期比
乳製品	1,932	103.4%
飲料・デザート類	2,598	105.0%
飼料・種苗	443	100.2%
その他	398	98.6%

(注) 1. セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 平成22年5月12日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

3. 前期比は平成22年5月12日発表決算短信における参考資料として記載しました、平成21年4月に経営統合を実施したと仮定した場合の平成22年3月期実績に基づいて算出しております。

(4) 【参考：レビュー対象外】 事業子会社単体部門別売上高

①雪印乳業(株)単体部門別売上高 (単位：億円・%)

	平成22年3月期 第3四半期累計		平成23年3月期 第3四半期累計		増減金額
	実 績	前期比	実 績	前期比	
	乳食品	911	95.3	964	
(内 バター)	174	91.6	184	105.9	10
(内 チーズ)	460	100.3	472	102.4	11
油脂	119	100.4	114	95.2	△5
その他	42	85.0	38	89.1	△4
合計	1,074	95.4	1,116	103.9	42

(参考)平成23年3月期第3四半期シェア(家庭用) バター 39.2%
マーガリン 33.9%
チーズ 19.7%
(当社調べ：全国物量ベース)

②日本ミルクコミュニティ(株)単体部門別売上高 (単位：億円・%)

	平成22年3月期 第3四半期累計		平成23年3月期 第3四半期累計		増減金額
	実 績	前期比	実 績	前期比	
	白物飲料	611	95.5	657	
色物飲料	444	91.6	447	100.6	2
はっ酵乳	234	101.0	253	108.4	19
その他	346	104.2	341	98.3	△5
合計	1,637	96.9	1,699	103.8	62

(参考)平成23年3月期第3四半期シェア(家庭用) 牛乳 8.2%
乳飲料 27.7%
はっ酵乳 10.4%
(当社調べ：全国金額ベース)